

現 状

○昨年度調査における下水中の新型コロナウイルス濃度の分析方法については、令和2年12月に日本水環境学会COVID-19タスクフォースにおいてとりまとめられた「下水中の新型コロナウイルス遺伝子検出マニュアル（暫定版）」の分析方法を活用

※本年3月には、「下水中の新型コロナウイルス遺伝子検出マニュアル」が公表された。

○一方で、民間企業や大学などで新たな分析手法等の開発が進められているところ。

令和3年度調査検討における分析方法（案）

○民間企業2社の分析手法を活用して分析を実施。